



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成 30 年 9 月 1 1 日発行 No. 1 9 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



塩川小の自慢「さわやかあいさつ」の効果 ～学校アンケートから～

「塩川小のよいところは何ですか。」の質問に対して、71%の児童が、「さわやかにあいさつしている」とことと答えました（下グラフ）。「さわやか」の意味には、「名前を付けてあいさつしている」「地域の人、誰にでもあいさつしている」「笑顔で～」「お辞儀をして～」等がありました。

6年生の大夢くんは、「さわやかあいさつとは、心が通じ合うあいさつ、優しい気持ちになるあいさつ」と言っています。この言葉どおりに、「みんななかよし」や「上級生が下級生に優しい」が、よさの3番目と5番目にあがっています。実際の学習・生活態度では、規律と思いやりの態度が育まれています。「さわやかあいさつ」が、素敵な塩川小に高めています。



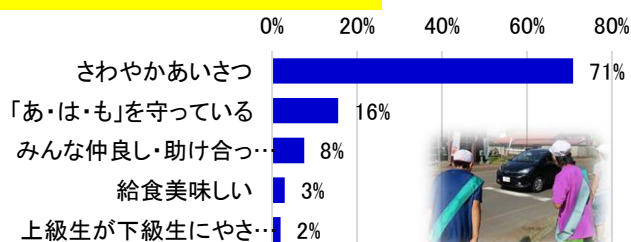
校外に出て「さわやかあいさつ」する運営委員

「規律」を高めて、もっと素敵な塩川小にしましょう。

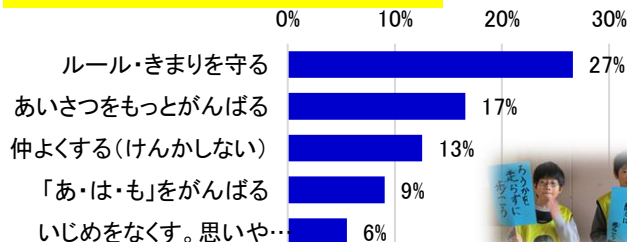
「塩川小をもっとよくするには？」の質問については、「ルール・決まりを守る」が約3割を占めました。具体的には、「廊下、階段をはしらない。スリッパそろえる。やるべきことやる。交通ルールを守る」等が入っていました。少数意見でしたが、「礼儀正しくする」「学校をきれいにする」がありました。

子ども達は、「規律」をさらに高めることで、けががなく、いじめもない、みんな仲よしの楽しい塩川小になると考えています。

塩川小学校の自慢は何ですか



塩川小学校をもっとよくするには？



清掃の反省をする子ども達。通学班や部活動などでも、目標に対する反省を行っています

ちょっといい話

本校では、「振り返り」を大切にしています。そのことで、「自分が、自分たちが」という当事者意識を高め、子ども達は、主体的・自立的に活動しています。



6年生は、20日（木）の市陸上大会に向け、種目別の練習に取り組んでいます。当日の応援をよろしくお願いします。下窪にある農業科実習田の稲が実り、稲穂が垂れる頃となりました。5年生による稲刈りは、10/9を予定しています。

「環境即教育」の言葉にあるように、よい環境が、よい子どもを育てています。先日、保護者の方に、こんなご協力をいただきました。

桑の木やセイタカアワダチソウなどが、通学路をふさいでいたそうです。危険を感じ、その管理者の方に刈り取りをお願いしたところ、翌日には、きれいに刈り取られていたそうです。

子ども達の健全育成には、子ども達の育つ環境の全てがよいものでなくてはなりません。その意味で、保護者の方の行動と、管理者の対応にとっても感心させられました。

※「学校だより等の写真は、カラーにしてほしい」とご意見をいただいております。印刷費の関係で、残念ながらモノクロ印刷となっています。教育ポータルサイトにはカラーで掲載しておりますので、こちらもご覧ください。